

大原中だより

さいたま市立大原中学校

☎ 048-831-5397

FAX 048-835-1357

第 9 号

はつらつとした学校、地域に輝く学校

平成29年1月6日

メールアドレス:ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ:http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

安全第一、そして新年おめでとうございます。

校長 中島 俊尚

まず安全第一について書きます。すでにお知らせしましたように、12月初めにひとつ残念なことがありました。生徒が下校途中に歩道橋を使わずに上木崎交番付近の産業道路を無理に横断し、自家用車と危うく接触しそうになったことです。このことを初めて知ったのが翌朝、大原中橋でのあいさつ運動のときでした。上木崎交番のおまわりさんがオートバイで乗り付けてきて、「校長先生ですか？」と話しかけてきました。その後はもう朝のあいさつ運動どころではなくなりました。生徒の命がかかったたいへんなできごとに私はぼう然と話を聞いていました。「あとわずかで大きな事故、もしかしたら死亡事故になったと思います」、「運転手が血相を変えて交番に怒鳴り込んできて近隣の中学生をもっとしっかり指導しろと苦情を言ってきました」、「産業道路を横断するときは歩道橋か横断歩道を使ってください」、「もうこんなことが2度と起こらないように生徒をしっかりと指導してください」、おまわりさんのことばがひとつひとつ胸に突き刺さりました。上木崎交番付近の歩道橋は、昔、産業道路を横断していた中学生が大きな交通事故に遭い、その反省からつくられたそうです。そんないわれのある場所で同じ事故を繰り返してはなりません。その日、学校ではすべての学級で登下校時の交通安全について指導するとともに、各家庭へお願いの文書も配付しました。そして、職員も交代で現場に立つようにしました。その後、危険な報告は1件もありません。生徒にはこれからもずっと気を付けてほしいです。



12月の半ば、今度は地域のみなさまからうれしい知らせがありました。上木崎地区青少年育成会理事会において社会福祉協議会の会長さんから、本校の男子生徒が徘徊中のお年寄りを見つけ、ご自宅まで送り、ご家族にたいへん感謝されたとお話をいただきました。さらにクリーン活動や敬老作文について温かなお褒めのことばもいただきました。ありがとうございました。

2学期終業式、私は、式辞の中で2学期の〈総括〉と、新しい年に向かっての「メッセージ」を、学年ごとに送りました。〈中学生としてたくましく成長した2学期〉を過ごした1年生には、「よき先輩になる準備をしっかりと行って」とメッセージを送りました。〈先輩として、強い自覚をもった2学期〉を過ごした2年生には、「最上級生としてのプライドの襷をしっかりと受け取って」とお願いしました。そして〈その最上級生としてのプライドを存分に発揮した2学期〉を過ごした3年生には、「感動の卒業式に向かって大きく飛躍して」と心からエールを送りました。いつもながら生徒の聞く態度のすばらしさに感動させられました。聞き上手な生徒はどんどん伸びると確信しています。

こうしてSMAPの出演しない紅白を観ながら、2016年も終わりを告げ、新しい年がスタートしました。新年おめでとうございます。保護者・地域のみなさまには、明るい光に包まれて、健やかに2017年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

あらた 新しき 年の初めの 初春の けふ 今日降る雪の いやしけ吉事 よこと

万葉集 大伴家持

1月、もうまもなく3年生の私立高校等の入学試験が始まります。2年生は、12日から2泊3日の予定で館岩自然の教室（スキー実習）です。そして1年生は25日から27日まで職場体験〈未来くるワーク〉となります。新学期のスタートと同時にすぐ佳境を迎える本校への変わらぬご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。